

1 建築計画

プランは検討中のため変更の可能性があります。

1 メインエントランス、回廊

メインエントランスを北側に変更して前庭(もりのエントランス)を設置。

回廊は部分的に透明な建具で仕切り屋内化することで、季節を通じて回廊で過ごすことができ、屋外活動との連続性を強める。

2 情報ラウンジ(展示室)

青葉山公園を訪れる人々を出迎える場所として、適切な情報展示に加えて過ごしやすいう質なラウンジ空間とする。

企画ギャラリーは市民活動の展示やマルチメディア展示など、様々な企画に対応した可変性を備えた空間とする。

3 ライブラリー、会議室

・仙台に関する書籍や情報を集めたライブラリーは、観光客と市民の双方に有用な開放的な閲覧スペースとする

・スタッフも市民も使える会議室。ライブラリーとの一体利用によるWSなどにも対応する

4 カフェ、カフェテラス

オモテ林1(屋敷森)と市民広場とに面したカフェスペース。貸切利用などにも対応できるように計画。

冬でも暖かいカフェテラスはもりのテラスに連続しながら広瀬川へのつながりを感じられる。

5 ホール、ラウンジ

オモテ林2(もりの庭園)をバックに、南側水盤からの反射光により明るく暖かい多目的ホール。

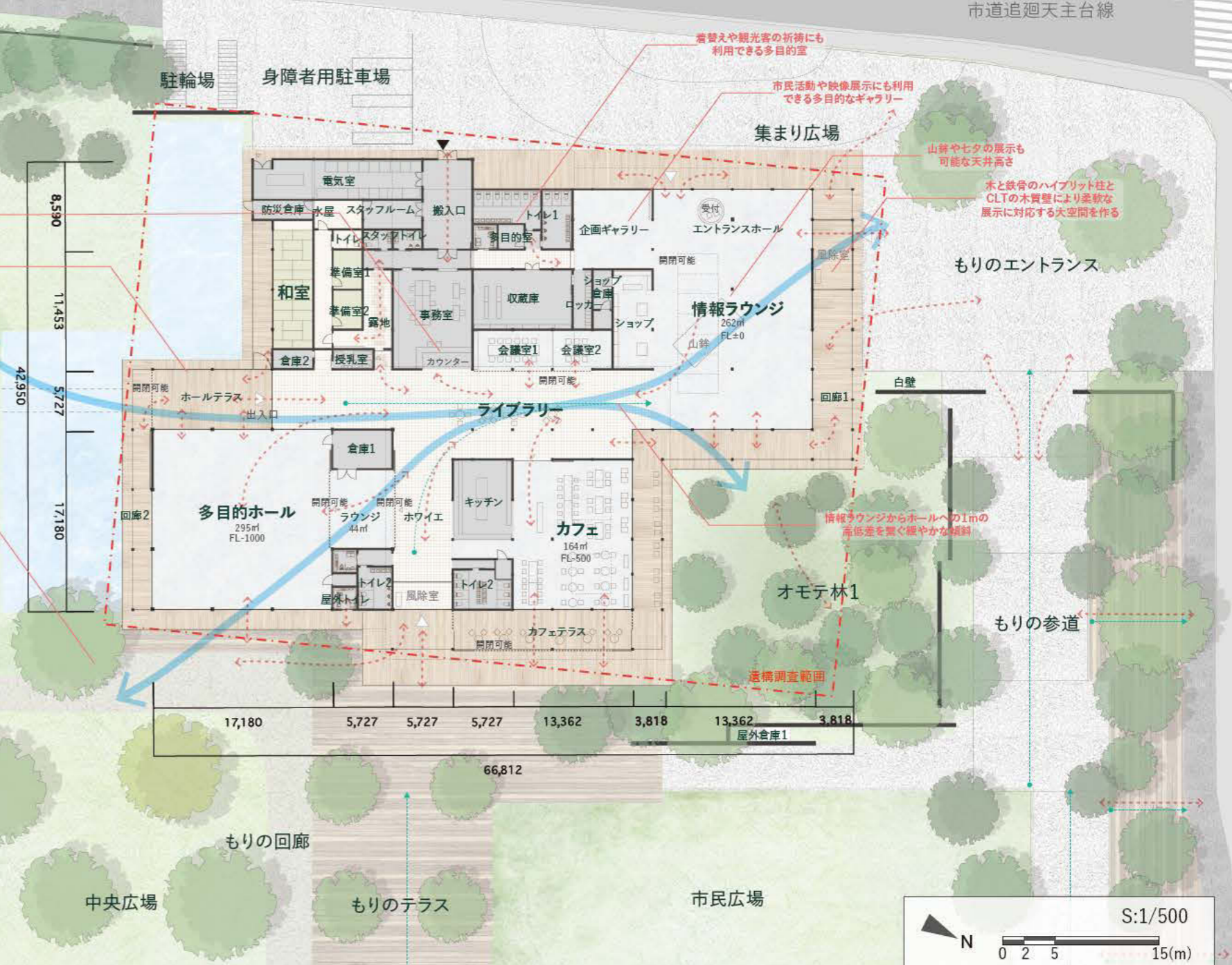
開放すれば多目的ホールの前室として一体利用ができ、閉じれば市民活動スペース、子どもの遊び場などに活用できる。

6 和室

オモテ林2(もりの庭園)を楽しめる多目的な和室。日本文化を伝える様々な催しに活用できる他、楽屋など多目的な用途に活用可能。

面積表

室名	面積	備考
1 エントランスホール	113	案内所5㎡(1~2名程が常駐)
2 ショップ	36	
3 ショップ倉庫	7	
4 ロッカー	11	8ボックス×6機+収蔵庫で大型荷物預かり
5 トイレ1	48	男性(大3小4)・女性(7)・多目的トイレ
6 多目的室	6	着替えや礼拝など自由に使える個室
7 情報ラウンジ	262	一人当たり2~3㎡>>100名収容相当
8 企画ギャラリー	58	映像投影できるプロジェクション設備を設置
9 収蔵庫	55	情報ラウンジ・企画ギャラリーの17%程度
10 ライブラリー	60	一人当たり3㎡>>20名収容相当
11 ホワイエ	296	緩やかに傾斜する(1/12未満)
12 カフェ	164	一人当たり3㎡>>55名収容相当
13 カフェテラス	66	一人当たり3㎡>>22名収容相当
14 キッチン	44	客席75%+キッチン25%>>45㎡相当
15 オープンホール	295	最大250席収容相当
16 ホールテラス	66	開閉可能な建具により冬場は温室となる
17 ラウンジ	44	一人当たり2㎡>>22名収容相当
18 授乳室	9	男性(大3小4)・女性(7)・多目的トイレ
19 トイレ2	39	多目的トイレ
20 屋外トイレ	5	ホール椅子250脚などを収納
21 倉庫1	18	倉庫1,2はホールの12%程度
22 倉庫2	7	ベビーベット・授乳コーナー・水道など設置
23 和室	49	12畳×2室(8畳×3室でも検討中)
24 露地	27	和室の玄関となり、未貸時の動線となる
25 準備室1	11	和室での活動を支える畳仕様の部屋
26 準備室2	11	和室での活動を支える畳仕様の部屋
27 水屋	13	大茶会などでも利用できる
28 事務室	73	一人当たり5㎡>>15名収容相当
29 会議室1	29	一人当たり2㎡>>14名収容相当
30 会議室2	22	一人当たり2㎡>>14名収容相当
31 スタッフルーム	11	給湯コーナーやロッカーを設置
32 スタッフトイレ	16	男性(大1小1)・女性(2)・多目的トイレ
33 防災倉庫	11	災害時用物資の倉庫
34 室内機	10	床吹き出し空調に必要な室内機収納
35 電気室	62	受変電と発電機室を兼ねる
36 搬入口	41	
37 回廊1	207	北東の回廊(落ち縁を除く)
38 回廊2	82	南西の回廊(落ち縁を除く)
39 その他(廊下など)	113	
合計	2,498	



0 全体

3つの大空間をつなぐ回廊の屋根が雁行する様に重なり合い、オモテ林1の<屋敷林>と共に片倉屋敷のスケール感を意識した景観を構成する。建物の前には人々の賑わいが広がる。

記録に残る片倉屋敷のスケール(6尺3寸モジュール)や軸線を継承することにより、往時の武家屋敷の空間性を体感できる。

オモテ林とライブラリーが第1の森(青葉山の自然)と第2の杜(都市の自然)をつなぎ合わせ、書院造りの建築の様に回廊が屋外の自然と建築空間とを結ぶ。



市道追廻天主台線
市道青葉山線
るーぷるバス停